

## “SME 国際認定生産エンジニア” Certification を取得するメリット

SME（Society of Manufacturing Engineers）はフォードの生産技術者の勉強会を元に1932年に作られた、ものづくり（Manufacturing）に関わる技術者のための世界的な組織です。日本には1962年に『東京支部』が組織され、2017年に日本支部改称致しました。

SMEは以下に示すような活動を行っており、生産技術者の情報源としての重要な役割を担っています。

- ・各種見本市の主催およびこれに併設した技術講演会の実施
- ・技術者教育基金の運営と資格認定制度の実施
- ・専門書やDVD等による技術情報の発信

これらの内、資格認定制度の運営はSMEの特徴をよく表した活動で、次の資格を認定しています。

- ・CMfgT（Certified Manufacturing Technologist）
- ・CMfgE（Certified Manufacturing Engineer）

資格試験は世界各地で実施され、同じ基準に基づいて技術者を認定しており、合格者は世界に通じる生産技術者として広く認められています。日本支部では1994年から資格認定のための試験を実施しており、現在では日本から1,538名の合格者を輩出しています。この資格を取得することで次のようなメリットがあるといえるでしょう。

- ・個人的には自らが技術的な知識やスキルを身につけていることを確認でき、これが客観的に証明される。
- ・社員は技術者の技術レベル・技術英語力が一定水準を超えていることが証明され、社外に対して客観的な信頼が得られる。
- ・教育者としては教育効果を客観的に証明できる。

これらのメリットに併せて日本支部で資格試験にチャレンジする技術者にはより大きなメリットが考えられます。ご存知のように日本の英語教育には改善しなければならない点が多くあるといわれています。この教育を受けてきた技術者は必ずしもコミュニケーション能力が十分であるとはいえません。産業のグローバル化に直面している今、技術者が広く意思の疎通をする必要があるのは言うまでも無いことです。このような観点からSME日本支部では資格試験を通してグローバル化に対応できる技術者の養成に力を傾けてきました。

SME日本支部では1994年から資格試験を実施してきましたが、これに併せて英語で出題される試験問題の解説、出題者の意図を分かり易く解説するReview Courseを実施してきました。この講習会を受講した方々が2016年・2017年に実施した試験では100%合格するという好成績を収めることができました。

グローバルに仕事を進めようとする方々や企業、さらにはこれから社会に出て活躍しようとする学生の皆さんにとって大いに役に立てる資格であると確信しています。個人的にも、企業における若手社員の教育の一環としてもこの資格の取得に挑戦されることを強くお勧めします。

この資格の詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://www.sme-japan.org/>

<http://www.sme.org/>

以上